

【事例17】

飲料製造業において騒音環境の改善を行い、聴覚機能面に配慮した作業環境を整備

作業内容の概要

ペットボトル飲料生産工程において、合成樹脂からブロー成型機（加熱、蒸気により成型するもの）でペットボトル容器を成型する作業及びミネラルウォーターの入ったボトルをフォークリフトにより運搬する作業等

改善前の作業の状況・問題点

- (1) 工場内の騒音でフォークリフトエンジン音が打ち消され、接近に気がつかず、接触するおそれがあった。
- (2) ブロー成型機稼働状態のまま、ブロー成型機のボトル取り出し口に噛み込んだボトルを取り除こうとし、手を機械に挟まれるおそれがあった。

改善後の作業の状況

- (1) フォークリフトにパトライトを設置し、フォークリフト運転者も含め、視覚での注意喚起を促すとともにフォークリフトと作業者の通行エリアを明確に分けた。
- (2) 防音パネルで発生音源を囲むことにより、騒音レベルを低減した。
- (3) 警告ランプを設置して、ボトルの噛み込みが発生した場合は、瞬時に分かるようにした。
- (4) ブロー成型機稼働中は、点検用扉を開けることを禁止する掲示を行うとともにメンテナンスの作業手順書を作成し、再教育をした。

改善のポイント・工夫点

騒音の低減を図るとともに、視覚・聴覚面からの危険源情報の伝達を工夫した。

改 善 前

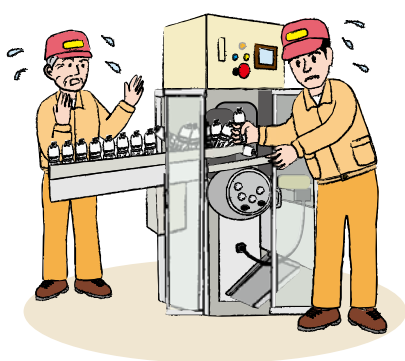


工場内の騒音でフォークリフトエンジン音が打ち消され、接近に気がつかず、接触するおそれがあった。

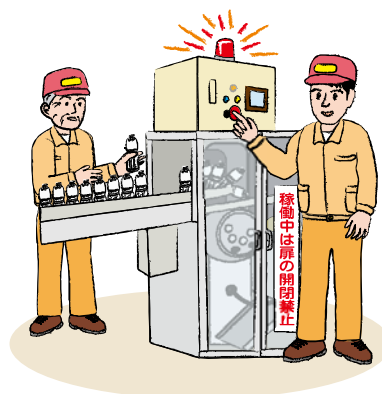
改 善 後



フォークリフトにパトライトを設置し、視覚での注意喚起を促すとともに通行エリアを明確に分けた。



ブロー成形機稼働のまま、取り出し口に噛み込んだボトルを取り除こうとし、手を機械に挟まれるおそれがあった。



警告ランプを設置して、ボトルの噛み込みが発生した場合は、瞬時に分かるようにした。

【事例18】

食品加工業について夜勤作業の休憩や作業時間帯を見直し、作業負担の軽減に配慮

作業内容の概要

米飯・調理パン・総菜の調理、包装、梱包等の作業であり、24時間操業している。作業時間帯の特徴としては、商品出荷時間前に商品集荷や梱包業務が集中する。

改善前の作業の状況・問題点

- (1) 商品出荷時間帯に作業が集中するため、高齢労働者に配慮した休憩の頻度となっていなかった。また、休憩場所を設けていたにもかかわらず、作業場所から離れており、休憩時間にほとんど利用されていなかった。
- (2) 夜勤作業の休憩や作業時間帯について高齢労働者に対して特段の配慮はしていなかった。
- (3) 梱包して出荷する際の商品の重さがわからず、持ち上げた時にバランスを崩して転倒するおそれがあった。

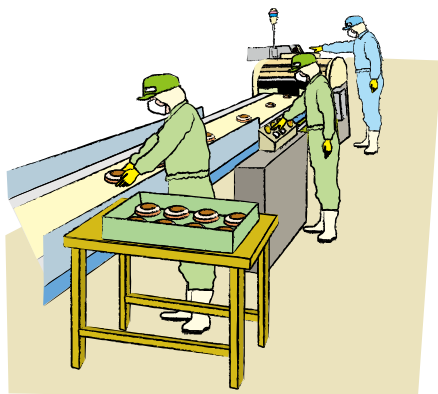
改善後の作業の状況

- (1) ① 商品出荷時間を考慮してシフトを組み直し、高齢労働者に配慮して一定時間毎に休憩が取れるようにした。
② 休憩場所の利用率が低かったため、ライン横に簡易休憩場所を新たに設置した。
- (2) 夜勤は日中の作業に比べて眠気や疲労が発現しやすいことに配慮し、健康状態に応じ、人員配置や班別による等の休憩方法・時間の見直しをした。
- (3) 重量のある商品（約10kg以上）には「注意書き」を貼り、2人以上で対応することとし、持ち上げ時の転倒等の防止を図った。

改善のポイント・工夫点

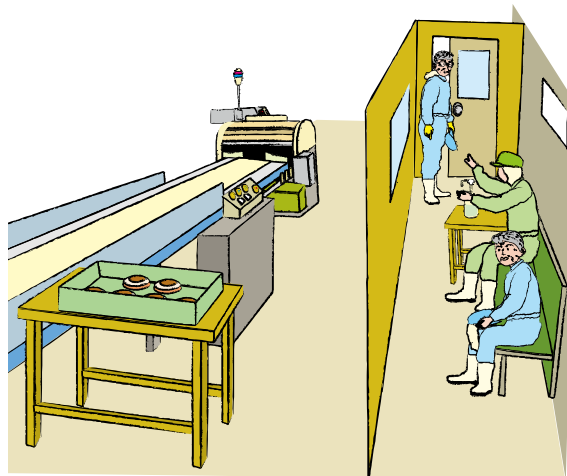
夜勤業務に対応するため、現場からの声を広く集め、高齢労働者の健康状態に応じた人員配置等に配慮するとともに、休憩時間の設定や簡易休憩場所の設置を行った。

改 善 前



休憩場所が離れており、休憩時間にほとんど利用されていなかった。

改 善 後



ライン横に簡易休憩場所を新たに設置した。



梱包して出荷する際の商品の重さがわからず、持ち上げた時にバランスを崩して転倒するおそれがあった。



重量のある商品（約 10kg 以上）には「注意書き」を貼り、2 人以上で対応することとし、持ち上げ時の転倒等の防止を図った。